

週刊 日本共産党
市議会報告

2016年1月11日

第1354号

【発行】
日本共産党
浦安市議団
☎ & F A X
350-1243



市議会議員
元木美奈子

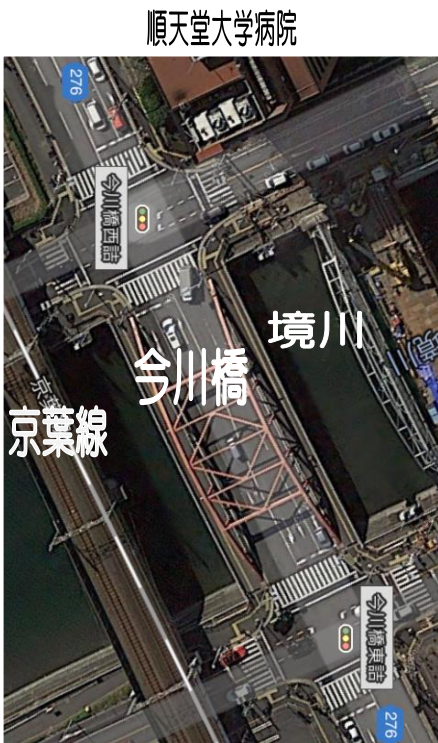
入船 4-37-14
☎ 355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203
☎ 354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

今川橋の拡幅を！ 歩行者・自転車の交通多く危険



至新浦安駅

12月議会一般質問にて、日本共産党は歩行者・自転車で混雑している今川橋を拡幅して改善するよう求めました。

朝の混雑 危険な状況

今川橋は、新浦安駅前から舞浜駅方面に向かう若潮通りがあり、浦安市の中心を流れる境川に、1970年に整備されています。

これまで、日本共産党は、今川橋周辺の交通混雑から、車道の右折・左折レーンを設置するよう、市や県へ要望しをあげ実現してきました。

自転車は原則、車道を走行することにしていますが、今川橋の車道は若潮通りの車道よりも狭くなっており、自動車の交通量も多く、自転車が今川橋の車道を通行するのは危険な状況です。

幅3.05mの歩道には歩行者や自転車が混在して通行しているため、朝の通勤・通学や、新浦安駅から順天堂大学病院へ通院する時間帯は、特に混雑し、接触事故につながる危険な状況となっています。

歩道の拡幅 自転車専用レーンを

住民から「ベビーカーやシルバーカートを押すママや高齢者などは安心して通行することができない」「現状の交通事情に合わない、歩道の拡幅や自転車専用レーンが必要」という声があがっています。

市と県の認識乖離

市は県との調整会議に今川橋の混雑状況の対策を口頭で求めているとしています。

ところが、県の担当者は、混雑状況を認識していないことが12月9日に市民団体の「今川橋を良くする会」のみなさんと日本共産党が県の担当者へ要望にいったさいにわかりました。

県は、「今川橋を良くする会」からの要望を受け、11月下旬に今川橋の現場確認をしています。が、平日15時前後の快晴の日で歩道は混雑していなかったという認識にとどまっています。

日本共産党は、12月議会にて歩道や車道の拡幅を求め、市から県へ改善の要望を文書などで強く求めるよう質しました。

今年度中に今川橋は橋梁診断（笹子トンネル天井落下事故後5年に1度実施）を行い、その結果に基づき橋梁長寿命化修繕工事も計画されています。

日本共産党は、今後も市や県に調査や改善工事を進めるよう求めていきます。